

公開シンポジウム

地球の肺を守ろう～世界三大熱帯林の現状及び課題、その保全策について理解を深める～

日時: 2024年5月20日(月) 13:00～16:30 (日本時間) 受付: 12:45～
参加申し込みは下記QRコードから(5月13日正午〆切)

会場: JICA地球ひろば2F国際会議場(東京都新宿区市谷本村町10-5)
オンラインとのハイブリッド開催(Zoomウェビナー)

言語: 日本語(日英・日仏同時通訳) 定員: 100名(会場参加) / 500人(オンライン参加)

地球の陸域の約3割を占める森林は、温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収・貯蔵し、希少な野生生物の生息地として生物多様性を育むなど、持続可能な開発目標(SDGs)実現の鍵を握るかけがえのない存在です。近年、国連報告によると、アフリカ、東南アジアや南米など途上国に広がる熱帯林を中心に年間1000万ha(東京都の面積の約50倍)もの森林が減少しています。

本シンポジウムでは「地球の肺」と呼ばれる広大な熱帯林を抱えるブラジル連邦共和国、インドネシア共和国、そしてコンゴ民主共和国の政府関係者を招いて、熱帯林の保全に関する課題を理解し、日本人専門家を交えその解決策について話しあうことで、持続可能な社会の実現を探求します。

プログラム(敬称略)

第1部 熱帯林保全の意義

現地報告: 「地球の肺」熱帯林保全に取り組む

大仲 幸作 / コンゴ民主共和国環境・持続可能開発省 JICA 政策アドバイザー

解説: 「熱帯林の地球環境への貢献」

北島 薫 / 京都大学大学院農学研究科教授



第2部 三大熱帯林の現状及び課題

- ▶ ブラジル連邦共和国からの報告 — ナラ・ヴィダル・パントジャ / 環境・再生可能天然資源院 環境モニタリング情報センター統括コーディネーター
- ▶ インドネシア共和国からの報告 — ムハマド・ザフル・ムッタキン / 駐日インドネシア共和国大使館林業アタッシェ
- ▶ コンゴ民主共和国からの報告 — モーリス・マタンダ / 環境・持続可能開発省森林インベントリ整備局長
- ▶ 三大熱帯林地域における JICA の支援の現状 — 栗元 優 / JICA 地球環境部自然環境グループ第2チーム課長



第3部 熱帯林保全の実現に向けて(パネルディスカッション)

<パネリスト>

ベンジャミン・トイランベ / コンゴ民主共和国環境・持続可能開発省事務次官

ナラ・ヴィダル・パントジャ、ムハマド・ザフル・ムッタキン

加藤 剛 / 住友林業株式会社 理事 資源環境事業本部副本部長

北島 薫、栗元 優

<モデレーター>

大場 あい / 毎日新聞社くらし科学環境部副部長

■参加申し込み(参加費・無料) ※定員に達し次第締め切らせていただきます。

以下のリンクまたは右のQRコードよりお申込みください。

※お申込み期限: 2024年5月13日 12:00(正午)

会場参加 <https://forms.office.com/r/5G1RGkRXFj>

Zoom参加 https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_bGZrD3N9SrGIWpgzo78b5Q#/registration



会場参加



Zoom参加

■お問い合わせ:

JICA 地球環境部 森林・自然環境グループ 自然環境保全課題支援担当

E-mail: jicage-nature@jica.go.jp TEL: 03-5226-6656



主催: 国際協力機構(JICA) / 共催: 毎日新聞社

後援: 外務省 林野庁 宇宙航空研究開発機構 産業技術総合研究所

森林総合研究所 協賛: 住友林業株式会社 森から世界を変えるプラットフォーム

